

令和8年度 石川県口腔インプラント研究会 《特別講演会》

IIRG 総会

上顎臼歯部のインプラント治療の 適応症拡大を目指して

～Crestal Approach & Lateral Approachの新しいコンセプト～

特別講演会 講師

公益社団法人 日本口腔インプラント学会 専門医
公益社団法人 日本歯科先端技術研究所 常任理事

遠藤 富夫 先生

2026年4月12日(日)

11:00～13:00

ITビジネスプラザ武蔵 5F 研修室 1

※リモート併催 (Zoom)



講師プロフィール

- ・1999年 日本大学松戸歯学部 卒業
厚誠会歯科 秦野勤務
- ・2004年 あざみ野アクア歯科クリニック 開業
- ・2007年 医療法人社団 藍美会 設立

学会及び社会における活動

- ・(公社) 日本歯科先端技術研究所
常任理事、認定医、指導医
- ・(公社) 日本口腔インプラント学会 専門医

講演内容

インプラント治療は欠損部に対する治療方法として認知され、欠損部にインプラント治療をすることにより、患者のQOLの改善に役立っていることは周知の事実である。しかし、インプラント治療を行う際に上顎臼歯部は骨質がやや疎で、抜歯後の骨吸収や上顎洞の含気化により残存骨高が不足しやすく、インプラント治療において難易度の高い部位とされている。これまで残存骨が少ない症例では、盲目的な治療法であるクレストルアプローチではなく、ラテラルアプローチによる上顎洞底挙上術が標準的な選択肢として用いられてきた。その理由としてクレストルアプローチではある程度の残存骨量（4～5mm以上）が必要となることや、隔壁や骨が傾斜している部分では適応にならないケースが多かったことが挙げられる。一方で近年、診断機器や専用器具、術式の工夫が進んだことより、クレストルアプローチの適応範囲が拡大し、症例によっては低侵襲なクレストルアプローチで対応が可能となってきた。

クレストルアプローチやラテラルアプローチは、専用ドリルやハイドロリック機構などを用いた低侵襲な挙上手技が開発され、より初期固定を得るためのワイド・シュートインプラントの活用や上顎洞挙上術の際に用いるマテリアルとしてコラーゲンを含んだ材料の使用など、上顎洞挙上術中に起こり得る粘膜穿孔や出血、術後の感染などの合併症への対応も従来よりも大幅に軽減された。特に既存骨の少ないケースでのクレストルアプローチの適応範囲が広がったことにより、「既存骨が少ない＝ラテラル一択」と捉えるのではなく、解剖学的条件とリスクを踏まえてラテラルアプローチとクレストルアプローチを使い分け、治療の可能性を広げるための考え方を、実際の症例を供覧して頂き、既存骨が少ない上顎臼歯部においても安全性と予知性のバランスを取りながら、治療計画を立てるための一助となれば幸いです。

ご挨拶

私が「サイナスリフト(上顎洞挙上術)」におけるラテラルアプローチの講演を初めて聞いたのは1994年のことでした。当時、インプラントの基本形状はブレードタイプからルートタイプへと移行しつつあり、骨膜下インプラントに頼らざるを得なかった薄い上顎洞底骨への補綴も、このラテラルアプローチの登場により大きな転機を迎えました。この術式は、「上顎臼歯部の骨量不足症例におけるインプラント治療を可能にする革新的技術」として注目され、将来的には残存骨の少ない上顎臼歯部における標準的な治療選択肢になると期待されていました。21世紀に入ると技術の成熟とともに、ピエゾサージェリーや専用ドリル、リーマーなどの器具が開発され、粘膜穿孔のリスクが大幅に低減されました。さらに、骨補填材も多様化し、自家骨に加えて同種骨や人工骨、コラーゲン含有材料、自己血液由来の再生材料などが利用可能となりました。これにより、術後合併症への対応も体系化され、より安全で確実な治療が可能となっています。そして現代では、さらなる低侵襲化が進み、クレストルアプローチや水圧挙上法といった、より侵襲の少ない術式が確立され、学会においてもガイドライン化されるなど、国際的な標準プロトコルが整備されています。これにより、我々の臨床的意義は一層高まり、1994年当時に紹介された「ラテラルアプローチの革新性」は、現在ではクレストルアプローチを含む「安全性と予知性を重視した多様なアプローチ選択の理論と実践」へと進化を遂げました。今回、遠藤先生にはご自身の症例をもとに、これらの進化をわかりやすくご講演いただきます。日々の臨床に役立つ、非常に興味深いお話が聞けることを楽しみにしております。

石川県口腔インプラント研究会 会長 溝口 尚

ITビジネスプラザ武蔵

〒920-0855 金沢市武蔵町14番31号
(めいてつエムザ武蔵スタジオ通り下堤町エレベーター5階)
TEL : 076-224-6340



- 《アクセス》
JR金沢駅東口より
●徒歩10分
●バス2区間
(武蔵ヶ辻)下車
●タクシー3分

- 【タイムスケジュール】
■ 10:20~10:45
令和8年度
石川県口腔インプラント研究会 総会
■ 11:00~13:00
遠藤 富夫 先生 特別講演

特別講演会の参加を希望される方は、FAXまたはEmailにて、お申込みください。

2026.4.12(日) 特別講演会 参加申込書

IIRG 石川県口腔インプラント研究会 FAX ▶ 076-221-0152

Email ▶ info@iirg.jp

フリガナ		石川県口腔インプラント研究会 富山県口腔インプラント研究会 福井歯科研究会 各会員、所属スタッフ	非会員歯科医 5,000円
申込者氏名		無料	非会員 所属スタッフ 3,000円
勤務先			
ご住所		<input type="checkbox"/> IIRG会員 <input type="checkbox"/> 富山・福井県研究会会員	
電話番号	()	FAX	()
Email		@	